

## 令和3年度 第4回東京都サービス管理責任者等研修検討会 議事録【要旨】

日時	令和4年3月18日（金曜日）午前10時から午前12時まで （新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、WEB上での意見交換による開催）
出席者	妹尾委員長、奥秋副委員長、秋谷副委員長、浅野委員、徳武委員、小出委員、相良委員、会田委員、岡田委員、樋口委員、橋爪委員、渡辺委員、大塚委員、清水委員（欠席：宮田副委員長）
事務局	東京都心身障害者福祉センター地域支援課長 森下 他5名 公益財団法人総合健康推進財団職員 3名

### 1 開会

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の出席状況は、宮田委員から欠席の連絡をいただいている。</li> <li>・研修委託先である、公益財団法人総合健康推進財団の方も参加している。また、傍聴として東京都の研修所管課の職員が参加している。</li> <li>・資料確認（事前にメール送付）</li> </ul> <p>次第</p> <p>資料1 令和3年度サービス管理責任者等研修検討会 活動報告（案）</p> <p>資料2 つながりを意識した研修プログラムの作成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回も新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、WEB会議形式で開催している。セキュリティ対策を講じた端末でのご参加や周囲の音を拾わない環境での参加をお願いする。</li> <li>・事務局では記録のため本日の会議を録音させていただく。皆様によるWEB会議の録画や録音はお控えいただくようお願いする。</li> </ul>
-----	--

### 2 年間のまとめ

#### ○令和3年度サービス管理責任者等研修実施報告

妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討事項1、年間のまとめに入る。資料1をもとに今年度の研修実施について報告いただきたい。</li> </ul>
公益財団法人総合健康推進財団	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回検討会が行われた10月29日以降の実施状況を報告させていただく。</li> </ul> <p><b>【第2回基礎研修】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義は動画配信で行った。配信期間は10月27日から11月8日まで。合計で約17時間視聴していただいた。</li> <li>・第2回の演習は、急遽、集合形式からZoomを使用したオンライン形式の研修に変更して実施した。11月29日から12月16日の期間でAコースからFコースまでの全6コースで実施。各コースとも概ね100名規模の研修となった。</li> <li>・Zoomを使用したオンライン形式の研修では事前に接続テストを行い、更に演習当日はコールセンターを立ち上げ操作方法やインフラ環境問題の解消に努めた。結果的にオンラインによる辞退者を出すことなく概ね各コースとも円滑に運営できたと思っている。</li> </ul>

- ・終了後の受講者アンケートについては、Zoomに関する反響が一番多かった。オンラインの特性上ソーシャルディスタンスを意識する必要がなくグループワークを行えたことがよかったといった意見を多数いただいた。その反面、横のつながりでの意見交換や名刺交換、会場特有の臨場感を味わえなかったということが大変残念だったという意見も上がっていた。
- ・研修全体を通し、受講決定者は609名で、研修修了者は557名となった。

#### [実践研修]

- ・講義は、動画配信と演習の組み合わせを3回に分けて実施した。3回に分けて実施したのは、基礎研修の修了年月によって2年以上の実務経験（OJT）期間が異なるため、個々の状況を考慮してコースの振り分けを行った。
- ・演習については、12月20日のAコースを皮切りに3月10日のOコースまでの全15コースで実施した。概ね1コースあたり20名から40名程度で実施をした。
- ・受講決定者が547名に対しての修了者数については、現在最終的な取りまとめを行っているが、概ね決定者数との差異は生じないと考えている。
- ・今年度は初年度ということもあり、Zoomでの実施に戸惑いを感じていた方も多かったかと思う。検討委員の皆様のご尽力により無事に研修が終了した。
- ・アンケートについては、事例検討会、個別支援会議前の事前会議、個別支援会議の動画が好評で大変わかりやすかったとの意見が多数あった。また、(自立支援)協議会との連携、活用という観点ではまだまだ(自立支援)協議会の認知度が低く、一部内容についていけなかったといった意見があった反面、これから積極的に情報収集をしていきたいといった前向きな意見も見られた。また、タイムテーブルについては時間が足りなかった内容、また逆に早く終わりすぎて時間を持て余してしまった内容等、それぞれの科目にて課題が浮き彫りになったと思う。来年度以降の研修にて是非とも検討いただければと思う。

#### [更新研修]

- ・講義は動画配信で行い、年明けの1月11日から1月13日の3日間で実施した。
- ・演習は、2月1日のAコースを皮切りに、2月25日のQコースまでの全17コースで実施した。1コースあたり概ね100名程度で実施。受講決定者数は1719名、修了者数については現在最終的な取りまとめを行っている。
- ・演習については、急遽会場集合形式からZoomによるオンライン形式への変更となったことにより検討委員の皆様には大変ご面倒をおかけした。皆様のご尽力により特に大きなトラブルはなく、粛々と進められたが、Zoomに関する問い合わせやちょっとしたアクシデントが随時あり、コールセンターがフル稼働で対応した。
- ・昨年は、個人ワーク中心でコロナウイルスの感染対策を考慮した進め方となっていたが、今年度はZoomでの実施ということもあり、グループ内で様々な意見交換ができたことは受講者にとって大変大きな収穫になったのではないかと思う。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、2時間半という演習プログラムについても受講しやすかったのではないかという意見をファシリテーターの皆様よりいただいた。今回、2グループに1人という割合でファシリテーターの方を配置させていただいたが、ファシリテーター不在のグループでは、なかなかグループ内で口火を切ることができずただ時間だけが過ぎていくといった様子も一部では見られ、その辺が Zoom で実施する上での課題であり、難しさを痛感している。</li> </ul> <p>[第2回専門コース別研修]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画配信で年明け1月5日から1月7日で実施した。</li> <li>・第1回と同様に演習はなく、6時間の動画を期間内に視聴し、最後に受講確認票を提出してもらった。</li> <li>・受講決定者は61名、修了者数は46名であった。46名の内訳としては、今年度の第2回基礎研修の修了者が28名、令和元年度から今年度第1回基礎研修の修了者が合計で18名だった。</li> </ul>
事務局	<p>[演習指導者養成研修]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は申込者が20名であった。</li> <li>・研修1日目は7月19日に実施し、会場集合型でファシリテーターの基礎について講義を行った。2日目は基礎研修のファシリテーター説明会への参加ということで、今年度は7月20日、21日及び11月4日の3回に分けて実施をした。説明会後の演習指導については、第1回基礎研修の演習が動画配信となったため、最終的には受講者全員が第2回の基礎研修で演習指導を行った。3日目については12月24日に Microsoft Teams によるオンライン研修で講義とグループワークを行った。</li> <li>・受講者からは、従来の研修の進め方と違う Zoom によるオンライン研修での演習指導という形になり戸惑いもあったが、ベテランのファシリテーターの方から、助言をいただきながら進めることができたといった話をいただいた。</li> <li>・途中で欠席された受講者もあり、修了者は18名となった。多くの方に来年度以降もファシリテーターとしてご協力いただけるというお話をいただいた。</li> </ul>

○各研修チーム活動報告

妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各研修のチームのリーダーから活動報告をしていただく。基礎研修、実践研修、更新研修、専門コース別研修の順番で1人概ね5分程度の時間で発言していただきたい。</li> </ul>
奥秋副委員長	<p>[基礎研修]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の実施方法については、総合健康推進財団から報告があったが、演習が Zoom によるオンライン研修となったため、苦労したところがあった。</li> <li>・チームで打ち合わせを行い、令和4年度については、今年度の反省や国の指導者養成研修の内容を踏まえ、3点程変更する予定でいる。</li> <li>・1点目は、講義について、標準カリキュラムの科目と時間を合わせていくために時間を増やし調整をしていくこと。また、個別支援計画作成のポイントと作成手順を講義のプログラムに加える予定。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2点目は、相談支援事業所との連携について、しっかりと触れていくことを考えている。具体的には、講義のサービス等利用計画と個別支援計画の関係の中で事例の説明とサービス担当者会議の動画を視聴する時間を組み込む予定</li> <li>・ 3点目は、2点目の修正により事例も修正していく方向で考えている。</li> </ul>
樋口委員	<p>[実践研修]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実践研修は、令和2年度の指導者養成研修で示された内容を実際の教材に落とし込み、進行ができるような形にした。また、Zoomによるオンライン研修での演習になり、今年度から実施する研修だが集合形式でも実施したところがないところで、オンラインでの実施となり、どういう研修になるのかのイメージがない中で不安と葛藤の1年間だったのではないかと考えている。</li> <li>・ 具体的な活動としては、8月頃には大体の演習内容が完成した。9月には研修資料の演習ノートの部分を完成させた。今回の演習ノートは、会場集合型での演習を想定して作成した。</li> <li>・ 10月末には教室進行用のスライドを完成させている。教室進行用は、オンライン版で今回は作成した。オンラインでの演習となり、個別支援会議の演習を行うことは難しいと思われたため、11月に個別支援会議のデモ映像の撮影を行い演習教材とした。講義部分の撮影、また、その他の追加資料の作成などを行い、研修ができるような形にした。</li> <li>・ 12月1日にファシリテーター説明会を実施し、12月20日より研修がスタート。全15コース実施し、最終日が3月9日・10日と、直近まで実施。振り返り会は3月11日に行った。</li> <li>・ 主な演習内容としては、サービス提供職員の助言・指導、事例検討会、個別支援会議の進め方と運営方法、日々のモニタリング等。どの演習も直接支援するという立場よりもチームの育成ということに力を入れた内容だったかと思う。今までのサービス管理責任者等研修では、主に基礎研修の内容を学んでサービス管理責任者等になっていたと思うが、新カリキュラムになり実践研修が入ったことにより、基礎研修では、本人主体の支援や、本人主体の個別支援計画を作成するところを学び、実践研修では、助言指導やチーム育成ということを学ぶことになり、サービス管理責任者等として事業所全体を見なくてはならないということを学んでいただけたのかと考えている。</li> <li>・ ただ、(自立支援)協議会を取り扱うということで、そこに関しては(自立支援)協議会のイメージがない方や地域課題とは何かがわからない方もいて、もう少し演習内容を変える必要があるのか、また、更新研修でも(自立支援)協議会で取り扱うため、更新研修との連動も必要かと思っている。何とか実践研修を形にできてよかったと一安心している。</li> </ul>
秋谷副委員長	<p>[更新研修]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 更新研修の実施については、先ほど総合健康推進財団の方から詳細について報告いただいたが、更新研修は今年度3年目になるが、令和元年から内容は大幅な変更なく実施してきている。</li> <li>・ しかし、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により研修の実施方法</li> </ul>

	<p>を変えることになった。全てオンラインになり、講義と演習の一部を動画配信とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の活動としては、秋口から準備を始め、昨年、会場集合型で実施した内容をZoomでのオンライン研修の形に資料を修正した。</li> <li>・演習は午前と午後で同じプログラムを2回実施し、時間を2時間半とした。2時間半のプログラムにするために内容を作り直した。また、動画については、12月中旬ぐらいに撮影を行い1月に配信をした。準備期間も短く大変だったと思うが無事に間に合わせていただいた。</li> <li>・1月の上旬にファシリテーター説明会を行い、演習は2月に実施した。受講者が1700人で17日程があった中、ファシリテーターの方や事務局の方に協力いただき終えることができた。</li> <li>・ファシリテーターの振り返り会でも意見交換をしたが、2時間半というのが参加しやすかった、更新研修を受講する方々は事業所の中で役割を持っていて多忙な方が多いと思うので、全部オンラインでよかったという意見もあった。</li> <li>・また、基礎研修や実践研修と違いファシリテーターを全グループに配置していないことについて、ファシリテーターや受講者から意見をいただいた。その辺も踏まえて来年度の研修を考えていけたらよいと思う。</li> <li>・令和5年度までは今のカリキュラムだが、6年度以降についてはスーパービジョンが加わる。今年度の指導者養成研修で詳細が示され、検討会でも報告をさせていただいた。</li> </ul>
大塚委員	<p>[専門コース別研修]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度については、令和2年度に作成したプログラムの児童分野の内容を微調整し、オンラインにて配信の上実施した。</li> <li>・令和4年度については、指導者養成研修の専門コース別研修部分で障害児支援の標準プログラムが示され、その内容を踏まえてプログラムを新たに作成した。前回の検討会で提案させていただいたプログラム案をもとに構成している。</li> <li>・令和4年度になったら、科目に合わせて講師の選定や、科目の内容を深めていくという形になるかと思う。</li> </ul>
妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここまでの報告で質疑や確認したい点があればお願いしたい。</li> <li>・この後に検討する議事3以外の年間のまとめについては、承認とする。</li> </ul>

### 3 つながりを意識した研修プログラムの作成について

妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回の検討会后、副委員長によるリーダー会で検討を行っていただいた。秋谷副委員長より検討内容の報告をいただきたい。</li> </ul>
秋谷副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副委員長3名と事務局とで打ち合わせをした内容を資料としてまとめた。こちらの内容を報告させていただく。</li> <li>・つながりを意識した研修プログラムを作成するための工夫として、基礎研修、実践研修、更新研修と段階的に力をつけていくことが求められていることを理解できるようにするという事になる。</li> <li>・研修の中で、重なっている部分の要素を整理して、各研修段階で学ぶことを明確</li> </ul>

	<p>にすることが大事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重なる要素として資料2に6つのカテゴリーに分けて表にまとめた。</li> <li>・サービス担当者会議・相談支援専門員との連携について。3つの研修に重なっている要素となっている。基礎研修では、支援プロセスの中でサービス担当者会議や相談支援専門員との連携を伝えていく。実践研修では、支援員としてこれまでの相談支援事業所との連携を振り返る。更新研修では、実践報告を聞くことでサビ管・児発管の役割を学ぶ。</li> <li>・モニタリングについて。基礎研修は、定期のモニタリングとし、達成できたところ、達成できなかったところを確認し、個別支援計画の再作成をすることにポイントをおく。実践研修では、日頃から行っているアセスメントの積み重ねの重要性を理解すること、また、モニタリングの質を高めることにポイントをおく。</li> <li>・個別支援会議について。基礎研修では、支援担当者会議を体験することや、進行、内容、留意点等、会議におけるサビ管・児発管の役割を学ぶこと。支援担当者会議を個別支援会議に会議名の変更を検討。実践研修では、個別支援会議前の事前会議を体験し、事業所内の状況に気づく。会議の進行、留意点等を具体的に学ぶところをポイントとする。</li> <li>・職員への助言・指導、スーパービジョンについて。実践研修では、助言・指導を適切に実施するための方法を理解する。また、自身の事業所の業務を振り返り、支援員への助言・指導の仕組みを考える。更新研修では、令和6年度からのプログラムになるが、助言・指導の技術を学び、ロールプレイで体験することで、個人の実践力やチーム力の向上を目指す。</li> <li>・事例検討について。実践研修では、助言・指導としての位置づけで行う事例検討とし、事例検討の進め方やポイントを学ぶ。更新研修では、事例について、グループメンバーと共に状況や支援の確認を行うことにより、支援の課題に気づく。事例検討会を体験することで、利用者支援の質を高める。</li> <li>・（自立支援）協議会について。実践研修では、事前課題として、自身の（自立支援）協議会の活動を調べ、演習の中で情報共有する。今年度は、情報共有後にグループでピックアップした地域課題について深めるところまで行っただが、時間内にしっかりと深めることはできなかった。情報共有だけでもかなりの情報量になるため、この段階では情報共有までとするか検討が必要。更新研修では、受講者が、サビ管・児発管として（自立支援）協議会とつながっている前提。関係機関の1つとして、（自立支援）協議会とどのように連携をしているか、連携ができていない場合、連携をするためにはどのような働きかけが必要と考えるか等、連携の必要性を再確認していきたい。</li> </ul>
妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告いただいた内容について質疑応答をいただきたい。</li> </ul>
渡辺委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新研修では、（自立支援）協議会とつながっている前提としているが、実際は受講者がつながっていない状況があると思う。前提としてしまうとつながっていない受講者はわからない中で話が進んでしまうことが心配。（自立支援）協議会と連携はするものだというところを実践研修の段階で明確にしてからの方がよいと感じた。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討について、実践研修での事業所の課題に気づくための土壌というところと、更新研修での利用者支援の質を高めるという2つのポイントを研修で明確にしていきたい。重複しても構わないと思うが、それぞれの研修での事例検討のねらいをおさえた方がよいと感じた。</li> </ul>
妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他に意見がないため、内容について承認とする。</li> </ul>

#### 4 令和4年度に向けての引継ぎ事項の確認

妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>議事3、作業チームごとに検討する時間に入る。検討内容について事務局より説明をいただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の活動を踏まえ、前半は、課題と思われることについて、後半は、今後に向けての取り組みとして次年度に引き継ぐことを確認していただきたい。</li> <li>各研修チームからの活動報告でも、今後の課題について説明があったが、そちらの内容も含めて検討いただきたい。</li> <li>チーム検討の時間が終わったら全体の場で今後に向けての取り組みとして次年度に引き継ぐことを発表していただく。発表していただいた内容は、資料1 令和3年度サービス管理責任者等研修検討会活動報告（案）の4ページに記載し、活動報告とさせていただく。</li> <li>なお、令和4年度の研修は完全オンラインで実施することとなった。今年度同様講義は動画配信、演習はZoomで実施したいと考えている。そのことを踏まえて検討していただきたい。</li> </ul>
妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>では、ブレイクアウトルームに移動する。11時40分にはメインルームに戻り報告をしていただく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームごとに検討（記録省略）</li> </ul>

#### 各チームからの報告

妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームリーダーの方から検討の報告をお願いしたい。</li> <li>基礎研修、実践研修、更新研修の順番で、概ね2～3分で各研修の報告のお願いする。</li> </ul>
奥秋副委員長	<p><b>[基礎研修]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>来年度に向けて取り組むことの引き継ぎは、先ほどの活動報告では、相談支援事業所間の連携について、講義部分で動画を作り配信するといった説明をしたが、再度意見交換をしたところ、相談支援事業所との連携をしっかり触れていくことが目的なので、担当者会議を深堀する必要性はないため動画ではなくイラスト等で講義の中に入れ込んでいく予定</li> <li>児童分野の参加者にとってわかりづらい内容になっているという意見がこれまでもあり、対応としては、児童分野のファシリテーターから補足の説明なりコメントを入れてもらい、児童分野の受講者がわかりやすいように工夫をしていきたい。</li> <li>演習の最後について、基礎研修から実践研修へのつながりにも関係するが、これまでは事前課題として記入してきている「どんなサビ管になりたいか」を最後に</li> </ul>

	<p>振り返ることをしてきたが、実践研修に向けて、実践研修受講までの期間に自分がやるべきことややりたいことをアクションプランとして考えてもらうということを入れ込もうかといった意見にまとまった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践研修までのOJTについては、指導者養成研修の資料を参考に、どんなことをするのかを伝えられるように修正をしていきたいと思う。</li> </ul>
樋口委員	<p>[実践研修]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いでは、最初に演習ごとに引継ぎを行った。</li> <li>・演習2は、最初のワークのためもう少しシンプルなものにしていく。</li> <li>・演習3は事例検討会だが、事例に引っ張られずに会議の進め方を学ぶことを強調し今回は動画のみとしたが、来年度は、事例検討会も受講者がグループでできるようなものにできないか検討していきたい。</li> <li>・演習4は、ワークシートの使い方や、モニタリングについて、答え合わせのような受講者と共有できる形にすることを検討したい。</li> <li>・演習5の個別支援会議は、今回デモ映像を視聴するだけだったが、視聴後に実際に受講者に会議を体験してもらうというワークをもっと増やしてはどうかといった意見があった。</li> <li>・演習6については、関係機関との連携を深められるようなワークを増やしていきたい、(自立支援)協議会に関しては、知るということを中心に行ってもよいのではないかと、また、更新研修との連動性を考慮していくことが大事になると思う。</li> <li>・全体としては、研修資料が対面式の内容になっているため、オンライン版に変えるということが大きな作業の一つ。そして、教室進行中心で行っていることをファシリテーターの協力を得ていくことも考えたい。発表の順番やグループワークの役割も全てこちらで決めていたが、自由度がある方法にしていくことを検討していきたい。</li> <li>・思っていたよりもブレイクアウトルームが使えていたので、ブレイクアウトルームの時間を増やすことを考えたい。模擬会議を受講者にやってもらうなど、ブレイクアウトルームの使い方や、頻度、どこでどのようなことをやってもらうか整理をしていきたい。</li> </ul>
秋谷委員	<p>[更新研修]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は更新研修の実施が4年目になる。全体的にはブラッシュアップしたいと考えている。来年度の研修についても、大枠は今年度と同じようなやり方で実施するという前提で、話をさせていただく。</li> <li>・動画配信の部分に関係機関との連携というプログラムがあるが、関係機関との連携は今まで実践報告を含めた内容で3年連続行っているが、実践報告の内容を変えたらどうかということを考えている。</li> <li>・演習部分では、サビ管・児発管としての自己検証と事業所としての自己検証というプログラムがあるが、目標は変わらないが、それぞれ重なり合うところもあるため、プログラムの内容を整理していきたいと考えている。</li> <li>・Zoomを使った演習の中で内容をもっと少しブラッシュアップしたいと考えている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新研修の受講者の話し合いの様子を見ていると、横のつながりがあり、話をしたいという思いがあるように感じられた。グループワークの時間をもう少し長くすることや、グループワークに分かれた時に、ファシリテーターを各グループに1人ずつ配置していないが、理想では各グループに1人入れていきたい。予算やその他の状況もあると思うのが、配置できない場合は、受講者だけでスムーズに進行できるような説明を入れる必要があると考えている。</li> <li>・令和6年度から更新研修にスーパービジョンを取り入れることになるが、実施の1年前から準備するというのは難しいと思われるため、令和4年度から準備をしてはどうかというところを引継ぐ形で考えている。</li> </ul>
--	---

## 5 閉会

妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、オンライン研修の準備と非対面の準備との2重の準備があり、負担も多かったと思う。引継ぎ内容等について今後の課題等も示していただいたので、引き続き次年度もよろしくお願ひしたい。</li> <li>・以上で本日の検討会は閉会とする。</li> <li>・今年度で検討委員を終える方々から一言ずつ発言をいただきたい。</li> </ul>
奥秋副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会はやることも多く大変なところはあったと思う。委員の方々とのつながりができたところが私の財産になったかなと思う。短い間であったが感謝する。</li> </ul>
大塚委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月以降新たな環境に身を置くことになり、委員を継続することが難しくなった。辞退という形で次年度はさせていただこうと思う。今年度から加わせていただき、1年足らずの辞退に基礎研修の皆様含め、ご迷惑をおかけするという形になり、大変に心苦しいが、私自身ここに参加させていただくことで本当にいろんなことを勉強させていただき感謝している。</li> </ul>
森下地域支援課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から実践研修が加わり、新しい研修体系でのカリキュラムが本格実施となった。各研修の実施においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により急遽、演習の実施方法を変更することとなった。</li> <li>・第1回基礎研修の演習については、動画配信で、それ以降の研修についてはZoomによる双方向での演習となり、多くの制約がある中で教材作成や説明会の準備を進めていただいたことに改めて感謝申し上げます。委員の皆様のご協力により、全ての研修を計画通りに実施をすることができた。</li> <li>・今年度で委員を退任される方々には、これまでのご協力に感謝するとともに、今後もいろいろな形で東京都のサービス管理者責任者研修等にご協力いただければと考えている。妹尾委員長をはじめ、各委員の方々にご協力いただいたことに心より感謝申し上げます。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清水委員から来年度の継続について辞退したいというご意向をいただいている。本日は途中で退席となったためご挨拶をいただくことができなかった。残念だが、そのようなご意向があったということを事務局からご報告させていただく。</li> <li>・本日の議事録(要旨)と活動報告の内容については、事務局で案を作成しメンバーリストにお送りする。委員の皆様からご意見をいただいてから確定をしてホームページに掲載する。内容の確認についてご協力をお願いします。</li> </ul>

・今後、令和4年度の検討会委員についてご依頼をすることになる。会場の都合などもあり、第1回の検討会については日程を決めさせていただいた。第1回検討会は5月20日(金)の午後1時30分から午後3時30分までを予定している。